

地球環境委員会の活動年表（参考）

年度	委員会		小委員会（主査名）	研究成果報告	関係法令等
1990 1991	特別研究委員会 建築と地球環境	松尾陽委員長	①ライフスタイル（太田利彦） ②資源利用（有馬孝礼） ③エネルギー（石福昭） ④エコシティ（尾島俊雄） ⑤パッシブ建築（木村建一） ⑥地域計画（農村）（宮沢鉄蔵） ⑦地域計画（都市）（三村浩史） ⑧環境変化（田中授）	199010 環境工学部門研協：地球環境と都市・建築 199010 建築計画部門研協：環境・資源と建築設計との関わりを考える 199203 建築が地球環境に与える影響（特別研究報告書）	地球温暖化防止行動計画 （199010、地球環境保全に関する関係閣僚会議決定） オゾン層保護法（199103 改正） 資源リサイクル法（199104）
1992 1993 1994	特別研究委員会 地球環境建築	安岡正人委員長	①ライフスタイル（荒谷登） ②資源利用（有馬孝礼） ③都市環境（松尾陽） ④都市気候モデリング（村上周三） ⑤ライフサイクル CO2（石福昭） ⑥都市計画（三村浩史） ⑦農村計画（宮沢鉄蔵） ⑧自然共生建築（木村建一） ⑨エコシティ（尾島俊雄）	199212 シホ ^o ：建築が地球環境に与える影響① 199304 シホ ^o ：建築が地球環境に与える影響② 199311 シホ ^o ：エコシティと環境設計 199311 エコシティ小委員会報告書 199403 地球環境と都市・建築に関する総合的研究（科研費報告書） 199503 建築・地域環境・地球環境のあり方（特別研究報告書）	国連環境開発会議（地球サミット）開催 （199206） 気候変動枠組条約、生物多様性条約（199206 採択） 省エネ法（199303 改正） 国交省環境共生住宅・市街地ガイドライン（199304 通達） 環境基本法 （199311 公布） 生物多様性条約（1993 発効） アジェンダ 21 行動計画（199312 策定） 環境政策大綱（199401 建設省） 気候変動枠組条約（199403 発効） オゾン層保護法（199406 改正） 環境基本計画（199412 閣議決定）
1995 1996	地球環境委員会（調査研究委員会）	中村泰人委員長	①ライフスタイル（太田利彦） ②環境教育・倫理（前野まさる） ③ライフサイクル評価（石福昭） ④自然共生（宿谷昌則） ⑤資源利用（有馬孝礼） ⑥都市環境（梅干野晃） ⑦地域計画（寺門征男） ⑧環境建築（内田昭蔵） ⑨都市気候モデリング（村上周三） ⑩環境保全計画（紀谷文樹） ⑪国際協力（木村建一）	199510 地球環境行動計画 199512 地球環境保全のための都市・建築の計画手法に関する総合的研究（科研費報告書） 199602 ライフサイクル評価小委員会報告書「ライフサイクル CO ₂ で建物を測る－建物の環境負荷評価の手引き」 199609 研協：地球環境－人類生活圏の視座 199703 ライフサイクル評価小委員会報告書「ライフサイクル CO ₂ で建物を測る（その 2）－建物の環境負荷評価の手引き～」	生物多様性国家戦略（199510 閣議決定）

<p>1997 1998</p>		<p>0.地球環境行動 WG (秋山宏) <基礎研究部門> ①-1 人間・社会 (木俣信行) ①-2 都市環境動態 (梅干野晃) ①-3 資源利用 (有馬孝礼) ①-4 環境建築計画 (宿谷昌則) ①-5 地球環境計画 (寺門征男) ①-6 環境管理 (外岡豊) <行動研究部門> ②-1 LCA 指針策定 (石福昭) ②-2 COP3 対応 (中村泰人) ②-3 災害と居住環境 (石山修武) ②-4 環境と女性 (小川信子) ②-5 サステナブル・ビルディング (村上周三)</p>	<p>199704 地球温暖化防止建築シボジウム：ライフサイクル CO₂ とライフスタイル 199707 地球温暖化防止建築シボジウム：温暖化防止と建築・都市・地域 199707 地球環境行動計画：理事会決定 199709 研協：地球環境問題と学会の取り組み 199710 地球環境問題徹底討論会：地球環境問題への建築の責任と役割—戦後建築の総括と反省に立って、明日への課題を探る 199711 建築における地球温暖化への実効的な対応の在り方 199712 COP3 京都会議 NGO シボジウム：持続可能社会の建築・都市に向けて 199712 会長声明 LCCO₂30%削減、耐用年数 3 倍：理事会決定： 199801 会誌掲載：気候温暖化への建築研究分野での対応 199802 建築の環境調和性評価への取り組みと方向 199809 総合研協：建築における持続可能性とは何か 199811 シボ：建物の LCA 指針の提案、次世代に引き継ぐためのわが国の建築のあり方学会声明フォロー（東京） 199812 シボ：COP3 一周年・京都シボジウム（京都） 199903 展示会：アーキテクチャ東京 99 199903 報告書：持続可能な社会を実現するための地球温暖化防止および資源消費削減に係る今後の我が国の建築の対応（提案）</p>	<p>環境影響評価法（199706） 気候変動枠組条約京都会議 COP3（199712） 国交省グリーン庁舎計画指針（199803 策定） 地球温暖化対策推進大綱（199806 閣議決定） 地球温暖化対策推進法（199810 公布） 省エネ法改正（199903）</p>
<p>1999 2000</p>		<p>①行動計画 (仙田満) ②対策評価 (外岡豊) ③LCA 指針策定 (石福昭) ④資源利用 (吉田倬郎) ⑤材料・構造 (友澤史紀) ⑥サステナブル・ビルディング (村上周三) ⑦ベストプラクティス (小玉祐一郎) ⑧都市気候 (森山正和)</p>	<p>199905 シボ：熱環境から見た都市のあり方 199907 シボ：サステナブル・ビルディング普及のための提言 199909 研協：地球環境温暖化防止と資源消費削減に向けて我が国の建築は如何に対応すべきか 199911 建物の LCA 指針 (案) CD-ROM 付 199911 講習会：建物の LCA 指針 (案) に基づく簡易計算法—地球温暖化防止のための LCCO₂ を中心として（東京、大阪） 200006 地球環境・建築憲章 200006 シボ：都市気候研究からの都市・建築計画への提言 200009 研協：都市環境のクリマアトラス 200009 PD①：地球環境配慮は設計プロセスをどう変えていくのか？ 200009 PD②：地球環境問題に対応する建築構造の取り組み 200010 地球環境・建築憲章運用指針 200010 地球温暖化防止に向けての我が国の建築分野における当面の対策（報告書） 200103 建築における資源循環のモデル化（報告書） 200103 サステナブル・ビルディングに関する国内外の動向調査と提言 200103 報告書：持続可能な社会を実現するための地球温暖化防止および資源消費削減に係る今後の我が国の対応」</p>	<p>地球温暖化対策に関する基本方針（199904 閣議決定） 住宅品質確保法（200004 公布） 建築リサイクル法（200005 公布） グリーン購入法（200005 公布） 循環型社会形成推進基本法（200006） 循環型社会形成推進基本法（200006 公布） 国交省グリーン診断・改修計画指針（200012 策定） 建設リサイクル法制定（200205 制定）</p>

<p>2001 2002</p>		<p>①行動計画（木俣信行） ②温暖化対策評価（外岡豊） ③LCA 指針（伊香賀俊治） ④資源循環（吉田倬郎） ⑤地球環境・構造（稲田泰夫） ⑥サステナブル・ビルディング（野城智也） ⑦ベストプラクティス（小玉祐一郎） ⑧都市気候対策（持田灯） ⑨地域共生（糸長浩司） ⑩地球環境建築編集（岩村和夫）</p>	<p>200107 技術部門設計競技「LCCO₂30%削減、耐用年数3倍延伸（100年寿命）をめざす建築設計 200109 大会記念シホ：建築は地球を救えるかー地球環境と建築界 200109 研協：環境建築はどこまで来たか、そしてどこへ行くのか 200111 WS：建築における資源循環のモデル化 200111 WS：サステナブル・ビルディングと政策デザイン 200201 WS：アジアのサステナビリティ 200203 WS：都市のサステナビリティ *本会調査研究系委員会および傘下の小委員会に対する、領域横断型調査研究テーマに関するアンケートに基づく新規事業の整理 200206 WS：ストック改善 200208 研協：民生部門2%CO₂削減は可能か 200208 PD：建築物の総合的な環境性能の評価とラベリング 200208 刊行：シリーズ地球環境建築 入門編ー地球環境建築のすすめ 200209 WS：サステナビリティを支えるテクノロジー 200211 WS：サステナビリティへのシナリオ 200212 公開勉強会：都市気候緩和のための人工排熱抑制ーその量・質・場所の制御 200302 総合論文誌創刊号：地球環境建築のフロンティア 200302 建物のLCA指針（第2版）：環境適合設計・環境ラベリング・環境会計への応用に向けて 12.25 建築会館会議室 200303 公開勉強会：屋上緑化はヒートアイランド対策として寄与するか？</p>	<p>環境省発足（200101） 環境報告書ガイドライン（環境省、200102） フロン回収・破壊法（200104 公布） 新・生物多様性国家戦略（200203 閣議決定） 地球温暖化対策推進大綱の見直し（地球温暖化対策推進本部決定200203） 地球温暖化対策推進法改正（200205） 土壌汚染対策法（200205 公布） 京都議定書批准（200206 我国） エネルギー政策基本法（200206） 持続可能な開発に関する世界首脳会議（200208）</p>
<p>2003 2004</p>		<p>①建築物社会ストック化（木俣信行） ②温暖化対策評価（下田吉之） ③LCA・環境会計（伊香賀俊治） ④資源循環（吉田倬郎） ⑤地球環境・構造（稲田泰夫） ⑥サステナブル・ビルディング（野城智也） ⑦ベストプラクティス（小玉祐一郎） ⑧都市気候対策（持田灯） ⑨地域共生（糸長浩司） ⑩地球環境建築編集（村上周三）</p>	<p>200306 公開研究会：竹のパビリオンとそのゼロ・エミッション哲学 200308 公開勉強会：風の道ー市街地形態と都市の通風・換気 200310 研協：循環型社会が求める建築の資源循環 200310 PD①：良好な社会ストック形成のために我が国の建築分野での努力はいかにあるべきか 200310 PD②：地球環境建築・構造からの発信 200401 刊行：シリーズ地球環境建築 専門編 3 建築環境マネジメント 200403 公開勉強会：ヒートアイランド対策外皮技術の動向ークールルーフを事例として 200404 公開勉強会：クマトラス実用の技法と適用 200407 刊行：シリーズ地球環境建築・専門編 1 地域環境デザインと継承 200408 研協：ヒートアイランド対策のための学会提言に向けて 200408 PD①：サステナブルシティ・リージョン 200408 PD②：地球環境時代の建築設計教育 200411 刊行：シリーズ地球環境建築・専門編 2 資源・エネルギーと建築 200501 地球環境建築講座ーサステナブルな社会の構築を目指して 200503 パネル展示：地球環境ーこれまでの10年からの10年</p>	<p>大気汚染防止法改正（200405 公布） 環境配慮促進法制定（200406 制定） 環境行動計画（国土交通省、200406）</p>

村上周三委員長

仙田満委員長

<p>2005 2006</p>	<p>岩田衛委員長</p>	<p>0-1 地球環境防災（佐土原聡） 0-2 地球環境ビジネスモデル（野城智也） ①温暖化対策評価（下田吉之） ②LCA 指針（佐藤正章） ③資源循環（中島史郎） ④地球環境・構造（稲田達夫） ⑤サステナブル・ビルディング（大岡龍三） ⑥SBデザイン（小玉祐一郎） ⑦都市気候対策推進（足永靖信） ⑧エコロジカル・リノベーション（糸長浩司） ⑨地球環境時代における教育（吉野博） ⑩建築とCSR（本田広昭）</p>	<p>200509 PD①：地球環境時代の建築設計教育 200509 PD②：建築とCSR 200509 PD③：サステナブルティ・リージョンの提言に向けて 200509 刊行：地球環境建築のすすめ（シリーズ地球環境建築・入門編）英文版 200509 パネル展示：2005 サステナブル建築世界会議東京大会（SB05Tokyo） 200602 シンポジウム：資源循環性を評価する LCA ツールの開発 200607 シンポジウム：ヒートアイランド対策と省エネルギー 200609 PD①：社会ニーズの変化と建築構造 200609 PD②：環境と防災－持続的な生活環境づくりのための総合的エンジニアリングをめざして 200609 PD③：地球環境のための新たなビジネスモデル創造の可能性 200609 公開研究会：地域空間計画と再生可能エネルギーの統合－オーストリア 200611 刊行：建物の LCA 指針（第 3 版）：温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール 200611 講習会：建物の LCA 指針－温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール 200701 刊行：環境教育用教材－学校のなかの地球 200701 シンポジウム：学校のなかの地球－地球環境時代における住環境教育への期待</p>	<p>京都議定書目標達成計画を策定（200504 閣議決定） 省エネ法改正（200808） 地球温暖化対策推進法を改正（200506）（200604）</p>
<p>2007 2008</p>	<p>吉野博委員長</p>	<p>0-1 中国における住宅の省エネルギー問題検討（吉野博） 0-2 国際情報発信（岩村和夫） ①地球温暖化対策推進（三浦秀一） ②資源利用戦略（中島史郎） ③ヒートアイランド（足永靖信） ④地球環境と防災（佐土原聡） ⑤サステナブル・ビルディング普及検証（大岡龍三） ⑥LCA 統合評価手法検討（伊香賀俊治） ⑦地球環境・構造（稲田達夫） ⑧エコロジカル・リノベーション対策（テワンカー・パート） ⑨サステナブル建築モデルデザイン（安田幸一） ⑩地球環境時代における教育（宿谷昌則） ⑪地球環境建築編集（村上周三）</p>	<p>200708 研協：新しい段階に入った地球温暖化対策と建築の役割 200711 シンポジウム：京都議定書に建築は何かができるか 200803 成果報告会：建築材料のマテリアルフローと資源利用の課題 200804 シンポジウム：北米における建築物の環境性能とカーボンニュートラル 200807 都市キャノピー層の科学－ヒートアイランドを抑制するサステナブル都市を目指して 200809 研協：アジア地域における建築環境と Sustainable Development 200809 PD①：地球環境から見たストック性能 200809 PD②サステナブル建築モデルとデザイン手法のあり方 200810 建築のカーボンニュートラルを目指して 200811 シンポジウム：地球温暖化対策会議－低炭素社会における建築の姿</p>	<p>21 世紀環境立国戦略を策定（200706 閣議決定） クールアース 50（200705）→世界の温室効果ガス排出量を 2050 年までに現状比で半減する長期目標を提示 クールアース推進構想（200801） 京都議定書目標達成計画を改定（200803 閣議決定） エコツーリズム推進法施行（200804） 建設リサイクル推進計画 2008（200804） 省エネ法改正（200805） 温暖化対策推進法改正（200806） 生物多様性基本法（200806） 低炭素社会づくり行動計画（200807 閣議決定）</p>

<p>2009 2010</p>	<p>稲田達夫委員長</p>	<p>0-1 国際情報発信（岩村和夫） 0-2 エコロジカルリージョン（デワーカー・ハート） 0-3 住宅カーボンニュートラル達成シナリオ（外岡豊） 0-4 地球環境時代における木材活用（稲田達夫） 0-5 長寿命建築刊行（田村和夫） ①アジア地域における建築環境と Sustainable Development 検討（銚井修一） ②気候変動対策（三浦秀一） ③炭素収支と資源利用（漆崎昇） ④都市と気候適応（成田健一） ⑤地球環境・防災デザイン指針（佐土原聡） ⑥サステナブルビルディング普及検証小委員会 ⑦LCA 統合評価手法開発（伊香賀俊治） ⑧環境負荷削減と構造（坂本眞一） ⑨サステナブル建築検討デザイン（安田幸一） ⑩地球環境時代における教育（宿谷昌則）</p>	<p>200908 研協：2050年に向けた建築の地球温暖化対策 200908 PD①：低炭素社会とヒートアイランド 200908 PD②：BIMとCASBEEの連係 200909 刊行：シリーズ地球環境建築 入門編－地球環境建築のすすめ（第2版） 201001 提言：建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050－カーボン・ニュートラル化を目指して（リーフレット） 201001 シンポジウム：建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050－行動計画の策定に向けて 201009 研協：低炭素社会実現に向けて建築構造分野が出来ること 201009 研懇：地球温暖化対策の新たな枠組みにおける建築・都市・地域の取り組み 201009 PD①：2050年住宅のカーボンニュートラル実現への社会実践シナリオ 201009 PD②：BIMとCASBEEの連係（その2） 201010 刊行：シリーズ地球環境建築 専門編1－地域環境デザインと継承（第2版） 201010 WS：温暖化対策アクションプラン策定に向けて－既存ストック対策の在り方 201011 シンポジウム：アジア地域における建築環境と Sustainable Development－アジア地域の建築環境の実態</p>	<p>改正グリーン購入法施行（201004） 改正グリーン契約法施行（2010）</p>
<p>2011 2012</p>	<p>小玉祐一郎委員長</p>	<p>0-1 エコロジカルリージョン（高口洋人） 0-2 住宅カーボンニュートラル達成シナリオ（外岡豊） 0-3 カーボンニュートラル化行動計画推進（吉野博） ①アジア地域における建築環境とエネルギー消費検討（張晴原） ②気候変動対策（高木直樹） ③炭素収支と資源利用（漆崎昇） ④都市と気候適応（大岡龍三） ⑤サステナブルビルディング評価フレーム調査（横尾昇剛） ⑥LCA 指針（近田智也） ⑦環境負荷削減と構造（坂本眞一） ⑧サステナブル建築デザイン（大野二郎） ⑨地球環境配慮型住育（高橋達）</p>	<p>201108 研協：地球環境時代における木材の活用推進のシナリオ 201108 PD：環境と防災（2） 201112 報告会：建築資材の炭素収支を考慮したマテリアルフローと資源利用の課題 201112 見学会：LCCM デモンストレーション住宅見学会 201209 研協：サステナビリティを評価する 201209 PD①：地震災害・防災と地球環境問題 201209 PD②：スマートシティとサステナブル建築デザイン 201301 シンポジウム：アジア地域における建築環境とエネルギー消費 201302 建物のLCA指針－温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール（第4版改訂版）</p>	<p>東日本大震災（201103） 東京電力福島第一原子力発電所事故（201103） 放射性汚染物対処特別措置法施行（201112）</p>

<p>2013 2014</p>	<p>外岡豊委員長</p>	<p>0-1 住宅カーボンニュートラル達成シナリオ(外岡豊) 2013年度で終了 0-2 カーボンニュートラル化行動計画推進(吉野博,中村勉) 2013年度で終了 0-3 低炭素社会・建築分野 WG(中村勉)2014年度～ 0-4 低炭素社会・都市分野 WG(外岡豊) 2014年度～ 0-5 低炭素社会・技術分野 WG(岩本静雄) 2014年度～ ①アジア地域における建築環境とサステナブル検討(吉野泰子) ②建築物気候変動対策(高木直樹) ③炭素収支と資源ストック利活用技術(田村雅紀) ④都市と気候適応(大岡龍三) ⑤サステナブルビルディング評価指標(高口洋人) ⑥LCA指針検討(近田智也) ⑦地球環境構造(大谷恭弘) ⑧サステナブル都市・建築デザイン(大野二郎) ⑨ライフスタイルと教育(高橋達) ⑩木材流通のデータベース化と共有化の手法検討(高村秀紀)</p>	<p>201306 建築環境セミナー多様化するサステナブル建築の展開 201307 合同公開勉強会 木材利用とLCA評価 201307 合同公開勉強会 環境未来都市と都市の温室効果ガス排出削減 201309 PD:地域におけるカーボンニュートラル化と持続可能社会への道筋 201309 研懇:地球環境時代における国産木材活用をいかに進めるべきか 20131030 関東支部シンポジウム:不動産市場で評価されるサステナブルビルディング 20131212 シンポジウム:国産材木造建築の推進に向けて 林業と建築の連携を探る(伝統木造特別研究委員会と合同主催) 201403 公開フォーラム:伝統的木造住宅と省エネルギー,建築士会連合会等と共同主催 20140722 低炭素社会推進会議 17 団体と発足 201408 スマートシティ時代の都市計画と環境建築デザイン」シンポジウム 201409 PD①:災害時のレジリエンス対応技術と資源ストック利活用の接点 201409 PD②:木材流通のデータベース化と共有化の手法検討小委員会 201409 シンポジウム 都市・建築分野におけるこれからの地球環境対策に向けてー建築学会の活動と展望ー 201412 低炭素社会推進会議シンポジウム 201412 構造シンポ 201412 伝統木造シンポ 20150225 WGBC APN 国際会議(後援)</p>	<p>京都議定書第 1 約束期間(2008～2012) 終了 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正(201303 閣議決定) ・当面の地球温暖化対策に関する方針決定(201303) 第 3 次循環型社会形成推進基本計画(201305 閣議決定)</p>
----------------------	---------------	--	--	---